

杉山 二郎

国際仏教学大学院大学
教授

Haruaga

ハンブルク大学
研究助手

Isacson

国際仏教学研究所
客員研究員

Jens-Uwe

ミュンヘン大学教授

Hartmann

国際仏教学大学院大学
客員教授

堀 伸一郎

国際仏教学研究所
専任研究員

デレアヌ

国際仏教学大学院大学
助教授

フロリン

Hubert Durt

国際仏教学大学院大学
教授

原 實

国際仏教学大学院大学
教授

昨年（平成十三年）五月十二日、鎌田茂雄教授が亡くなられた。私はこれまですでに幾人かの恩師の死に際会してきたが、鎌田先生の死は、まさに衝撃であった。

先生と私とは、形式的には同僚ということになるが、私は先生を年令の離れた長兄のように思っていた。末っ子にとつて長兄というのは、厳しい父親とはまた違って、安心して甘えることができる有難い存在なのであるが、事実、先生は何かと困り者の私をいつもそれとなく（私にはそれを言うことをせずに）庇つてきて下さったのである。あれは昨年の二月下旬のことであつたが、例によつて私の原稿の遅れから本紀要（第四号）が期限に間に合わなくなるのではないかと、の危険が高まり、私自身の原稿の断念と、まだ仕上げがつかない学生諸君の原稿の取り下げを命令される仕儀となつた。私は、自分が叱られるのは仕方がないとして、そのために学生諸君の原稿が出なくなつたら可哀そうだ、ということと鎌田先生に相談した。先生はルーズな私を監

督するため特に編集委員に任命されていたからである。その時の先生のお言葉はさうであつた、「なに、僕だつてやつと初校が出たばかりですよ。それよりも、どうか学生さん達の原稿を出してあげて下さい。それが何よりも大切なことですから……」。思えば、これが私が鎌田先生と交した最後の会話であつたのである。（S・T）

平成十四年 三月二十五日 印刷
平成十四年 三月三十一日 発行

国際仏教学大学院大学
研究紀要（第五号）

発行者 原 實

発行所 〒105-0001

東京都港区虎ノ門五丁目三十二番三

国際仏教学大学院大学

電話（〇三）三四三四一六九五三

E-mail: icabs@icabs.ac.jp

印刷所 〒101-0001

東京都千代田区内神田二丁目八十二

富士リプロ株式会社